平成20年11月7日

各 位

上場会社名　株式会社ヒガシマル
代表者　代表取締役社長 東 紘一郎
（コード番号　2058）
問合せ先責任者　管理部長 上野 善博
（TEL　099-273-3859）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

（単位：百万円）

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,707	321	380	226	48.03
今回発表予想(B)	9,092	182	238	20	4.36
増減額(B-A)	385	△138	△141	△205	―――
増減率(%)	4.4	△43.2	△37.3	△90.9	―――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,020	212	338	200	42.58

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,519	326	392	237	50.56
今回発表予想(B)	8,843	298	390	200	42.64
増減額(B-A)	324	△28	△1	△37	―――
増減率(%)	3.8	△8.7	△0.3	△15.7	―――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,019	231	361	224	47.68

修正の理由

平成21年3月期下半期の見通しは、企業業績の悪化や景気後退により、これまで上向いていた消費が再び下落に転じ、原油価格も急落して、物価は上昇から横ばいに転じる可能性があり、ますます価格転嫁が難しい局面になるものと予想されます。

高値で推移している輸入原料は買い付けから約半年後に入荷し、今秋に政府売渡麦価が更に引き上げられ、その他副原料等も値上がりしていることから、材料コストの負担は下半期の方がより大きくなってまいります。

また、ベトナムでは、2008年の物価上昇率が28%と急激に上昇しております。

このような状況から、平成21年3月期の連結売上高は、水産事業はクルマエビ飼料類、ハマチ飼料類及びマダイ飼料類が伸び、食品事業は即席麺類、機械そうめん類及び皿うどん類が伸び、当初の予想を上回る見込みであります。

販売コストにつきましては、主原料及び資材等の価格が上昇し、特に海外子会社においては、エビ飼料の水中保形性が悪い（水中で早く溶けて崩れる）ことや餌が水面に浮くといったクレームが発生し、早期にクレームを終息させる対策としてグレードの高い原料を使用せざるを得ないために材料費が大幅に上昇し、営業利益及び経常利益は、当初の予想を下回る見込みであります。また、クレームに係る販売代金の回収が困難と見込まれる額を特別損失に計上することとしており、当期純利益は当初の予想を大幅に下回る見込みであります。

個別の業績につきましては、売上高は当初の予想を上回る見込みであり、主原料等の価格は上昇しますが、生産量の増大により生産コスト及び販売コストの低減が見込まれるため、営業利益、経常利益及び当期純利益はわずかに下回る見込みであります。

以 上